2019/05/18

FDD-DRIVE SWAPPER FDD-DRIVE SWAPPER+

簡易説明書

 \sim X1 series \sim

版数 1.01

改訂履歴

版数	改訂日付	改訂内容	
1.00	2019/4/10	初版作成	
1.01	2019/5/18	「7 取り付け方法 – 手順 5」	
		・フラットケーブルの1番ピンの説明を追記	

目次

1.	はじめに	4
2.	特徴・用途	4
3.	セット内容	5
4.	お願い	6
5.	適合機種	6
6.	その他	6
7.	取り付け方法	$\overline{7}$

1. はじめに

X1 シリーズ(X1/X1turbo/X1turboZ)用 FDD-DRIVE SWAPPER(以下 FDS と呼ぶ)は、 X1 シリーズの起動ドライブを、内蔵 FDD と外部 FDD のどちらにするかを切替えることが出来るようにする 基板です。

本基板の 34pin コネクタに接続した FDX68 や HxC などの FDD エミュレータを使用してバックアップイメ ージから起動したり、内蔵 FDD に挿入したフロッピーディスクから起動したりすることが出来ます。起動ドラ イブの切り替えは、本基板(FDS)のトグルスイッチで簡単に出来ます。

さらに機能をプラスした FDD-DRIVE SWAPPER+ (FDS+) も用意しています。

こちらは、FDSの機能に加えて、モード切り替えスイッチでコントローラーモードに切り替えると、FDX68と 内蔵ドライブが直結した状態となり、FDX68の機能により、内蔵 FDD に挿入したフロッピーティスクをバッ クアップしたり、リストアしたりすることが出来ます。

※全ての X1 シリーズに対応しているわけではありません。本書に記載した「適合機種」以外の X1、および、FDD エミュレータでの動作については、自己責任でお願い致します。

※製造ロットによっては、下記の部品について材質や見た目に違いがあります。

ご理解頂いた上で、ご購入の検討をお願い致します。

・34 芯フラットケーブル

2. 特徴·用途

以下のような特徴があります。

- > 起動ドライブを、内蔵 FDD と拡張 FDD(FDD エミュレータ等)で切替え可能。
- > PC ケースを閉じた状態にできるため、見た目がスッキリ、場所も取らない。
- ▶ 拡張 FDD との接続を、34pinFDD コネクタ化。(ケーブルの調達、製作が容易)
- FDX68のコントローラーモードに対応。(FDS+のみ)

次のような用途で使用するのに便利です。

- 普段は内蔵 FDD から起動して、たまに拡張 FDD(エミュレータなど)からも起動したい。または、その
 逆。
- 同時に4ドライブ使いたい。(X1turboZIIIなど2ドライブまでの機種もあります)

3. セット内容

No.	名称	イメージ	個数
1	FDS 基板	<image/> <section-header><section-header></section-header></section-header>	1
2	X1 本体 – FDS – 内蔵 FDD 間フラットケーブル(*1)		1
3	ジャンパー基板 DRIVE SELECT 用		1
4	ジャンパーピン		4
5	FDS – FDD 間フラットケーブル (*2)	約 70cm	1

- (*1) フル結線
- (*2) フル結線 (FDX68 などの外付け FDD との接続に使用)

4. お願い

頒布するすべての基板について、手持ちの PC にて動作確認は行っていますが、古い PC に取り付ける基板であり、ご購入様にて取り付け等を行なって頂く点から、使用は自己責任でお願い致します。

5. 適合機種

本基板は、下記の機種で、実装して動作確認が取れています。

```
<del>X1D(CZ-802C)</del> ←未確認
```

```
X1G model30(CZ-822CB) (*1)
X1F model20(CZ-812CE)
X1turbo II (CZ-856CB)
X1turboZ(CZ-880CB)
X1turboZ(CZ-880CE)
X1turboZIII (CZ-888C-BK)
```

(*1)

所持している X1G model30(CZ-822CB)では、「X1G 専用セット」を使用しても、コントローラーモ ードは動作しませんでした。 (起動ドライブの切り替えは問題なく動作します)

6. その他

<最新の FDS 説明書> Twitter にて随時呟きます。 https://twitter.com/otoka_j

WEB サイト http://www.michaels-home.com/

7. 取り付け方法

以下に、X1(CZ-812CE)をベースに取り付け方法を記載します。

1. 赤丸部分のネジを外し、X1本体のカバーを取り外します。



2. I/O SLOT のパネルを外します。



取り付ける予定の I/O SLOT 1 or 2 のパネルも外します。
 SLOT1 側への取り付けをお勧めします。
 SLOT2 の場合、SLOT1 のボードがあるため、ケーブルの取り回しが大変です。





4. 内蔵 FDD に接続されている 34pin エッジコネクタを外します。





 手順4で取り外した内蔵 FDD の 34pin エッジコネクタが接続されていたところに、付属品 No.2「X1本体 - FDS - 内蔵 FDD 間フラットケーブル」を取り付けます。 エッジコネクタの方向に注意して取り付けてください。(逆刺し防止はありません) 写真では、取り付けたフラットケーブルの赤い線(Pin1)が手前側になります。 →エッジコネクタ基板側の切込みがある方向と、フラットケーブルの

赤い線(Pin1)のある方向を合わせます



付属品のフラットケーブルの種類によっては、赤い線(Pin1)が無いため、以下の方法で Pin1 の場所を確認して下さい。



6. 付属品 No.3「ジャンパー基板 FDX68/HxCの DRIVE SELECT 兼用」(赤丸の部分) を、付属品 No.1「FDS 基板」に取り付けて、I/O SLOT1 にセットします。



 手順4 で外した34pin エッジコネクタを、コネクタの向きに注意して、FDS に取り付けます。
 FDS 側のカードエッジの切込みと、34pin エッジコネクタの逆刺し防止ピンを合わせるようにして 取り付けます。





 手順 5 で取り付けた付属品 No.2「X1 本体 - FDS - 内蔵 FDD 間フラットケーブル」の 34pin コネクタ(メス)を、FDS の赤丸部分に差し込みます。



- 【動作確認】この時点で、外部 FDD からの起動を確認します。 付属品 No.5「FDS – FDD 間フラットケーブル」を使用して、FDS の 34pin のソケットと、FDD エミュレータ(FDX68/HxC/Gotek など)を接続します。 FDD エミュレータにて、起動させるソフトを選択して置きます。 トグルスイッチを写真手前に倒した後、PC本体の電源をONして、FDD エミュレータより起動し ます。
- 10. 【動作確認】内蔵 FDD からの起動を確認します。 内蔵 FDD に、起動させるソフトのフロッピーディスクをセットして置きます。 トグルスイッチを写真奥側に倒した後、PC本体の電源をONして、内蔵 FDDより起動します。
- 11. 【動作確認】FDX68 をご使用の方は、FDX68 のコントローラーモードも確認しておくのが良い と思います。

FDS+の写真手前側に、UP/DOWN のスイッチがあります。

UP ・・・ エミュレーターモード (外部 FDD として使用する場合)

DOWN ・・・ コントローラーモード (内蔵 FDD に挿入したフロッピーディスクを ダンプしたりリストアしたりする場合) 12. I/O SLOT パネル、X1 本体のカバーを取り付ける。



